

1. 教育概論

- 『学年Topレベルと自立型個別学習の関係』
- いくせい塾の今後の体制

オーナー 永井寿(内科医師)

[10:00～10:20]

①『学年TOPレベルと自立型個別学習の関係』

学年トップクラスが在籍

中2生は、Top 5の3名がいくせい塾生でした

- 期末テストでは、学年Top10に中3生1名、中2生3名でした
- 中2生は、**学年1位・2位・5位/257名中**が当塾生でした
- 上位を継続するための教材・システム・環境があります
- 過去良問と兵庫県入試解説教材は、テスト対策に必須です
- **自習棟使用者の成績は、群を抜いて安定しています**

トップクラスが女子の理由

まじめで勤勉なら報われるシステムが女子向き？

- 短期記憶を司る脳の部位は、“海馬”です
- 海馬の容積は、統計的には**女性の方が大きい**傾向です
- 経験から判明した“損得”を、計画性に活用します
- 長期記憶を司る脳の部位は、“前頭前野”等です
- 前頭前野の発達には、**性ホルモンの増加**が必要です

自立型個別学習こそ効率的

学年上位10%での成績安定度が抜群に高い

- 長期的な安定度は、内申書として評価されます
- 責任ある職業においては、“ムラ”は許されません
- 感情コントロールのトレーニングは、必須条件です
- 周囲に流されず、計画的にやるべきことを遂行します
- 周囲にプラスの影響を与える人物は、“カリスマ”です

結果は自力で生み出す

競争相手とは、自分の頑張っている姿の鏡である

- ライバルとして意識できる対象がいれば、幸いである
- 自分も頑張ったら、そうなれると思うから意識する
- 結果を出す個人は、日々の努力を継続している
- 自習棟(自立型個別学習)は、努力継続の『道場』である
- 苦楽の選択では、“苦”に順応して成長が可能になる

② いくせい塾の今後の体制

いくせい塾の継続

清水塾長と支持者の判断と行動に委ねる

- 始まりがあれば、終わりがあるものです
- 誰かが無理をすれば、成績アップも長生きも可能になる
- 10年間を節目として、本来の姿に戻そうと考えている
- 自習棟使用者の頑張りは、心を打つものがある
- 中2生の卒業まで、教材と見守りを継続する所存です

今後の清水塾長体制

2023年度以降、1年毎の契約更新となります

- 現中2生の受験指導は、現行の指導体制を保証します
- 体力等を考慮して、毎年9月に延長の確認をします
- 現中1生は、**来年10月に次年度の体制を報告**します
- 現小6生は、**1年毎の延長**となり入会金は無料とします
- **無期限休塾が決定された場合、入会金を返金致します**